



若山 加代子 議員

学校給食費の無料化でもっと子育て支援を

が、市民生活の安全の確保から言えば、私道も市道と同じように除雪対象として検討するべきではないか。

除雪対策について

【問】市民から除雪に対する要望、苦情が多く聞かれるが、何が原因と考えているのか。

【答】除雪に携わる事業所の減少があり、業者の確保が大きな課題となっている。それを解消するために新年度予算に、市が除雪機を購入し業者に貸与する経費を計上している。

【問】歩道の除雪が十分でなく、高齢者や子どもたちが危ない思いをしているとして、改善を求める意見も寄せられているが、市の考えは。

【答】市民の協力も得ながら歩行者目線に立って、歩道除雪に取り組んでいきたい。

【問】市は、私道の除雪はやらないとしている

である。防災ラジオの全世帯配布は考えていない。

学校給食費の無料化について

【問】若い世代に高山市に住み続けてもらおう、あるいは移り住んでもらうためには、子育て支援策が他の自治体に比べ充実していることが非常に重要ではないか。更なる子育て支援策の拡充というところで、学校給食費の無料化はできないか。

【答】私道の管理義務は除雪作業も含めその道路管理者にあると考えている。今後道路管理者や沿線住民で取り組んでいただきたい。

防災ラジオの全戸無料配布について

【問】災害時に、被災者や市民が比較的簡単に、情報を受け取れる自動起動防災ラジオを全世帯に無料で配布すべきと思うが、市の考えは。

【答】防災ラジオは他の媒体と合わせて緊急の情報を伝達する手段として非常に重要である。様々な情報伝達ツールを多重化、ふくそう化させておくことが必要



松山 篤夫 議員

「これからも住み続けたい」まちづくりを!

人口問題について

【問】市には消滅寸前の地域が何か所か存在している。これらの地域に対してどのような対策を行っていくのか。

【答】豊かな自然や文化的資源を十分に活用し、移住交流の促進など定住・交流人口の増加を図る施策を積極的に展開していきたい。

【問】10年後の市の人口は8万2千人と予想されているが、それに向けた人口政策についてはどう考えているのか。

【答】対策としては、これまで以上に多くの人を引きつけ、また、地域に住む人々が「住んで良かった」、「これから住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

観光戦略について

【問】坂は人間にとってドラマを生む空間である。坂や橋の名の由来等をしっかり捉え、市民、観光客にも伝えるべきである。また、まちかどスポットが老朽化している。観光の基盤整備として横丁整備も大切である。市の考えは。

【答】坂、橋等のいわれについても、市民や観光客に伝えられるよう、情報発信に努める。人が集える機能を備えた「憩いの場」としてのまちかどスポットを整備を始めたところである。今後も順次整備を進めていく。

【問】外国人観光客に高山文化をもっとPRすべきではないか。例えば、雅楽の楽器や音の

特徴の説明、直会(なほらい)の意味などもっと広く情報発信すべきであると考えるが。



広瀬・度瀬両神社の雅楽

【答】雅楽、直会は、外国人の興味を引くものであると考えている。地域の例祭、節分など年中行事や風習なども広く知っていただけるように努める。

【問】ウルバンバ郡(マチュピチュが存在)やコルマル市(フランス)等の提携・協定を今後どのように活かしていくのか。

【答】平成27年度、ウルバンバ郡の職員を10か月間受け入れ、主に環境施策について研修していた。コルマル市とは、酒やワインの専門家の派遣、地場産品の紹介などについて協議している。